

第3回 オープンバッジ・デザインコンテスト 結果発表！！

成城大学では、学生が学生を支援するサポーター活動が盛んであり、各団体の相互理解と連携を図る目的で、「Supporters' Forum」を開催しています。例年、多くの大学・高校のサポーター団体の皆さんに参加を呼びかけ、活発な交流が行われています。今年度は、同じくサポーター活動が盛んな甲南大学・京都橘大学との共催で「Supporters' Forum」(2024年11月30日開催)を実施しました。

「Supporters' Forum」では参加者に対し、その参加をデジタルで証明する「オープンバッジ」を発行することとしています。

このオープンバッジのデザインは、広く学内外の皆さんにコンテストを通じて募集しており、審査委員会による審査のもと、グランプリ、準グランプリ、佳作の作品が選定されましたので、ここに発表いたします。



【グランプリ】



竹村 香乃 さん
成城大学1年

★デザインの理由★

それぞれの役割を持つサポーターがお互いに助け合いながら学生サポート活動をしていることを、5つの色を使うことで表現しました。また、学生を優しくかつ積極的にサポートしているイメージがあるため、ハートを包んでいるようなデザインにし、使用している色やロゴは柔らかな雰囲気になりました。

●審査委員会からのコメント●

バッジの形状にとらわれず、各団体が共に協力し合いながらサポーター活動を進めていくことが表現された作品です。文字の視認性も非常に高く感じ、サポーターズフォーラムのバッジであることが分かりやすくデザインになっていると思います。



【準グランプリ】



新島 理央 さん
成城大学1年

★デザインの理由★

サポーターズフォーラムのバッジということで、支えるイメージのハートの中に、同じくサポートや団結のイメージとして組み合わせた手とそれぞれの学生サポーター団体のモチーフを詰め込んでみました！学習支援は鉛筆、国際交流は地球、キャリア支援は矢印、ライブラリーは本で、それぞれのイメージカラーで色をつけました。ポップで明るい雰囲気にしたかったので、色使いもカラフルにし、ツヤや影をつけてぷっくりして見えるようにしました。

●審査委員会からのコメント●

ハートの枠をベースに、各サポーター要素が詰め込まれており、手書きならではの温かみを感じるデザインです。「支えあう」ことを各サポーター団体のデザインで表現されており、工夫を感じました。立体感も表現されていて、一目見たときの印象で特にインパクトを感じるデザインです。



【佳作】(3 作品)



久保 勇瑠 さん
京都橘大学2年

★デザインの理由★

このデザインは、支援の象徴として手を重ね、地球を背景に多様な学生の協力が広がる様子を表現しています。中央のハート形は、支え合いの精神と絆を象徴しています。鉛筆は学びや記録、自己成長をノートパソコンはオンラインでの活動を表し、2024年の多様な学習スタイルと支援活動を反映しています。



沼間 葵生 さん
成城大学2年

★デザインの理由★

サポーターズフォーラムには4つの分科会があることから、四つで一つのをモチーフにしようと考え、四つ葉のクローバーがベースのデザインにしました。一枚の葉にそれぞれの分科会をイメージしたイラストを置きました。また、手描きにすることによって優しい雰囲気を出せるようにしました。



金子 遥 さん
成城大学2年

★デザインの理由★

中央に配置したオブジェは、他団体のサポーターとの繋がりとあふれだすアイデアを表現しました。作成段階では参加前ですが、フォーラムを通して新たな知識や自分たちにも活かせる力を獲得できるようにと願いを込めています。また、オープンバッジは参加証明であるため、見たときにパッとわかりやすく、さわやかさを感じられるブルーとホワイトでシンプルにまとめました。

<審査委員会> ※敬称略

委員	京都橘大学	多田 泰紘 経営学部 経営学科 専任講師
	京都橘大学	宿利 航太郎 総合心理学部 総合心理学科2年生
	甲南大学	千葉 美保子 全学共通教育センター 准教授
	甲南大学	竹内 遥 経済学部3年生
	成城大学	都築 幸恵 副学長・教育イノベーションセンター センター長
	成城大学	西浦 夢香 経済学部3年生
		(サポーターズフォーラム 2023 オープンバッジ・デザインコンテスト グランプリ受賞者)
	株式会社マインドシェア	西澤 陽介 マーケティングプロデュース部